

No. 1634

村田お別れ完封

—— 川崎球場 ——

10月13日川崎球場は雨、全身を躍動させ独特のマサカリ投法で剛球を投げ続けて来た村田兆治投手の最後のマウンド。帽子をとってあいさつする西武の四番清原との対戦。得意のストレートでレフトフライに打ちとり1回表を無事切り抜け、ホットした表情でマウンドを降ります。ロッセ打線も3回裏愛甲のライト前ヒットで先取点をとったあとディアスの3ランで一挙に4点をリード。右ひじ手術から奇跡のカムバックをしてからも直球勝負にこだわり「自分のスピードボールに納得できない」と引退を発表。ゲームは5回雨のためコールドゲームとなり「サヨナラ登板」を完封勝利で飾りました。41年ぶり、史上2人目の40歳代2ケタ白星で、23年間通算215勝のプロ野球生活にピリオドをうちました。

湾岸危機の和平を求めて

—— 海部首相中東歴訪 ——

海部首相は9月29日ニューヨーク入りし国連での「子供サミット」に出席しました。議題は「子供の生存確保」「子供の保護」など四つのテーマを討論。各国首脳のサインした宣言書が壇上に運ばれました。これより先、海部首相は宿舎でブッシュ米大統領と首脳会談。8月2日イラクのクェート侵攻以後の中東湾岸問題を中心に話し合い日本からの総額40億ドル余りの資金援助が評価されるとともに日米の結束を強めることで意見が一致しました。中東入りした海部首相は、トルコのオザル大統領、サウジアラビアのファハド国王、オマーンのカブース国王と会見しトルコには円借款、石油産油国のサウジとオマーンには技術協力などを援助する事を約束。エジプトでは首都カイロのイラク銀行支店にはクェートから避難して来たエジプトの労働者たちが預金を下ろすために毎日混雑しています。ムバラク大統領との会談で経済封鎖のため影響を受けているエジプトに対し3億ドルを供与することで合意しました。ヨルダンでは王宮でフセイン国王と会見。国王が日本からの資金面での援助を求めたのに対し海部首相は4億ドルの円借款の支援を決めました。そのあとイラクのラマダン副首相と西欧側の首脳として初会見しクェートからの撤退、人質の解放について強く意見をのべました。ヨルダンの首都アンマン近くにあるアングス避難民キャンプに海部首相が訪れ人々を激励しました。これらキャンプに日本は2000万ドル以上の資金を提供しています。中東湾岸危機がつづく現在、日本が紛争解決の先導役として貢献してほしいものです。